

案件

野外活動センターのリニューアルに向けた取り組みについて

スポーツ振興課

1. 政策等の背景・目的及び効果

枚方市野外活動センターは、小・中学校における団体生活を学ぶ宿泊体験及び野外活動を通じて青少年の健全育成を図ることを目的とした教育訓練キャンプ場として、昭和45年に開設しました。平成4年にはより多くの市民に利用いただけるよう、市民の余暇の活用及び健康づくりを図ることを目的として、メインホール（管理研修棟）、ステラホール（天体観測棟）やロッジなどの施設の整備を行いました。

しかしながら、その後約30年以上が経過することで設備は老朽化が進み、今後の運営に必要なインフラ設備には多額の費用を要することに加え、施設の利用形態も現在のニーズとは乖離している状況です。

については、現在の利用状況や施設状況などの課題を踏まえ、リニューアルに向けたサウンディング型市場調査を実施するなど、その進め方について報告を行うものです。

2. 内容

(1) 対象施設

名称	枚方市野外活動センター
所在地	枚方市穂谷4550番地
敷地面積	183,400㎡

(2) 現状と課題

①現状（対象施設の概要、利用者数の推移、収支の状況など）

参考資料参照

②課題

- ▶ **利用状況**…利用者数はコロナ禍等の影響を受けて減少傾向にあり、令和5年度においてもコロナ前の水準に戻っていません。また、今後、少子高齢化などの社会情勢を踏まえると、このままの運用では利用者の大幅な増加は見込めないと考えられます。
- ▶ **収支状況**…設置後50年以上、リニューアル後30年以上経過する中で、設備等の維持管理に多額の費用が発生するなど、収支についてはマイナスが続いています。
- ▶ **施設の老朽化対策**…施設の老朽化が進むとともに、メインホール（管理棟）の諸室等の活用しきれていない設備が多く、物価高騰等によりメンテナンス費用も増加しています。

(3) 対応（案）

サウンディング型市場調査の実施

①期間…令和6年（2024年）12月から令和7年（2025年）5月までを予定

②狙い…現在の利用状況や施設状況を踏まえてリニューアルを進めていく上で、持続可能な運営とするためにどのような手法があるか、民間事業者の自由な発想を生かした施設改修・活用の範囲や運営手法など、あらゆる可能性を含め幅広い提案を受け、今後の対応案をまとめていきます。

③提案を求める主な内容

- ・事業実施に必要な前提条件
- ・具体的なリニューアル、運営のイメージ
- ・その他事業全般に関する提案、課題 など

3. 実施時期等（予定）

令和6年（2024年）12月	サウンディング型市場調査の実施 ・実施要領の公表、現地説明会、個別対話など
令和7年（2025年）6月以降	サウンディング型市場調査の結果を公表し、今後の対応案の検討を開始

4. 総合計画等における根拠・位置づけ

① 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち

施策目標23 豊かな自然環境を大切にするまち

② 計画の推進に向けた基盤づくり

計画推進 3 持続可能な行財政運営を進めます



5. 関係法令・条例等

地方自治法（第244条の2）

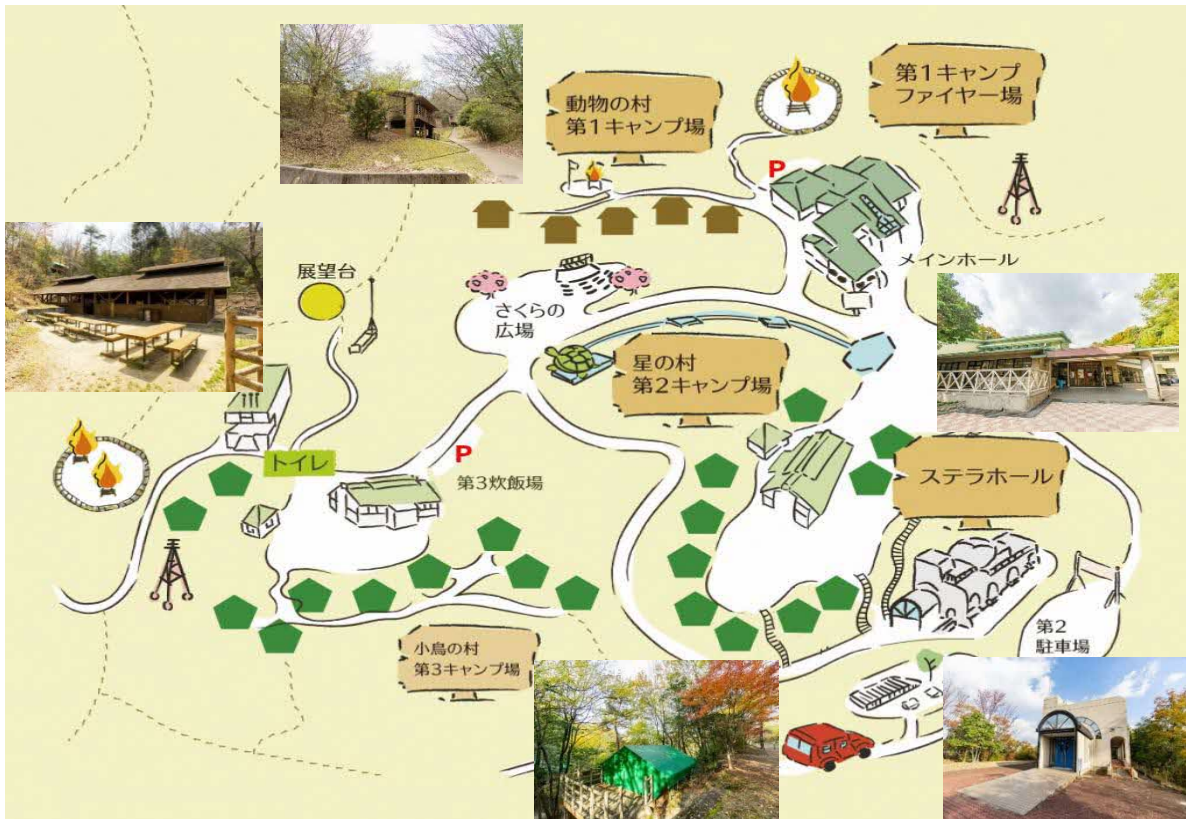
枚方市野外活動センター条例

対象施設の概要

【施設名】 枚方市野外活動センター
 【所在地】 枚方市穂谷4550番地
 【敷地面積】 183,400㎡

▶主な施設

	竣工年度	建物構成
メインホール (管理研修棟)	平成4年9月 (築32年)	事務所 オリエンテーションホール 研修室 食堂 大浴場・小浴場
ステラホール (天体観測棟)	平成4年9月 (築32年)	天体望遠鏡 実習室 広場
第1キャンプ場	平成4年9月 (築32年)	ロッジ 5棟 (10室/50人)
第2・第3キャンプ場	平成元年6月 (築35年)	フレッシュエアートent 19張 (285人) 炊飯場



▶利用料金

区分		単位	料金
小・中学生等	日帰り	1人1日	200円 (100円)
	宿泊	1人1泊	500円 (250円)
一般	日帰り	1人1日	400円 (200円)
	宿泊	1人1泊	1,000円 (500円)
ロッジ		1泊1室	2,500円
第1・2研修室		午前	1,000円
		午後・夜間	1,500円

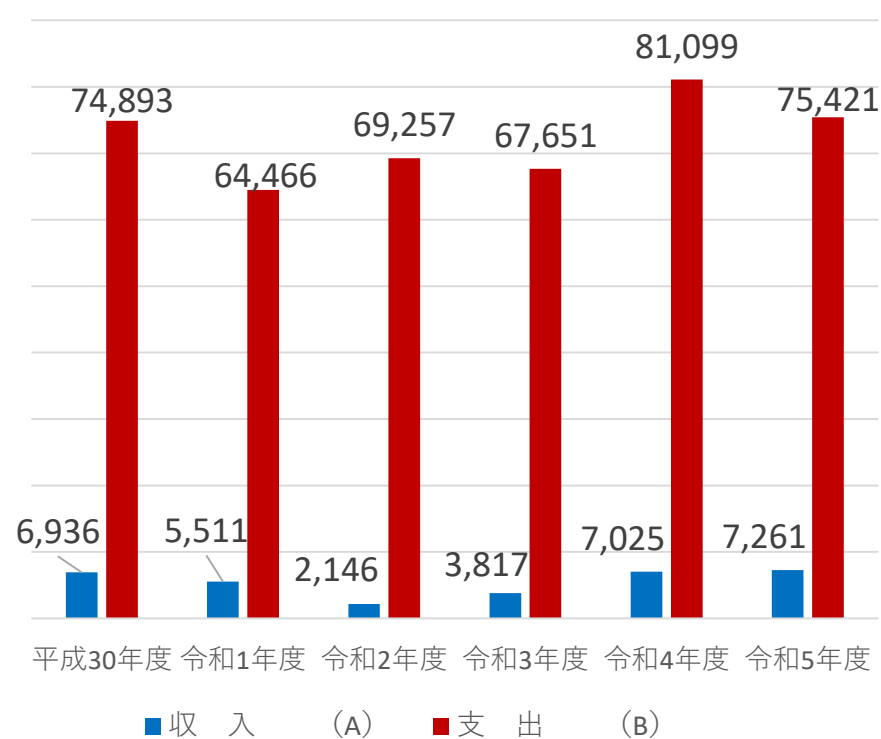
利用者数の推移

(人)



収支の状況

(千円)



※支出は臨時的経費等を除く